

2025年大阪・関西万博推進本部

《第5回議事録》

■日 時：令和5年10月27日（金曜日）17時20分～17時35分

■場 所：大阪府庁本館3階特別会議室（大）

■出席者：出席者名簿 のとおり

（彌園万博推進局長）

それでは、ただいまから2025年大阪・関西万博推進本部会議の第5回会議を開催させていただきます。進行を務めます万博推進局の彌園と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。ネット配信の関係で、マイクでしゃべらせていただいております。

本日は、2025年日本国際博覧会協会の高科副事務総長にご出席いただいております。大阪府・市の出席者につきましては、お手元の出席者名簿の通りでございます。

次に、本日の会議の趣旨でございますけれども、会場建設費の精査結果につきましては、先週10月20日金曜日に博覧会協会さんから概略説明を受けたところでございます。それ以降、当日の知事・市長のご指摘も踏まえまして、事務的に確認作業を進めてきたところでございますけれども、知事の方から、博覧会協会に対しまして、「オープンの中で直接私からも確認事項をお伝えしたい」といったご意向を受けまして、本日、本部会議を開催させていただいているところでございます。それでは吉村本部長、よろしくお願いいたします。

（知事）

まず、高科副事務総長におかれましては、本当にお忙しい中お越しいただきましてありがとうございます。お礼を申し上げます。

万博の会場建設費についてですが、1850億円から500億円増額になる2350億円という精査の結果について、博覧会協会から説明がございました。もちろんこれまでの間、円安であったり色々な世界情勢もあって、建築資材も高騰している。色々な増額の要因があるというのは、可能性としては当然認識しておったところですが、10月20日にそういった正式な博覧会協会からの説明をお受けしました。その際、私と横山市長からも何点か確認事項をお伝えして、そして、それらを踏まえて、この間も引き続いて事務方で内容確認を進めてきていると聞いています。

ご承知の通り、2025年大阪・関西万博は、会場建設においては国が3分の1、大阪府・市が3分の1、経済界が3分の1を負担する。つまり、大阪府・市が万博会場を、まさにその地元でありますけれども、会場建設費の3分の1負担をするという立場でもあります。その分、素晴らしい万博をする必要がありますし、府民・市民の皆さんにきちんと、増額であればご説明をしなければならない。そういう責任を僕も横山市長も負っているという立場であり、また、現場の責任者の1人だと認識をしています。そういった観点から、今日、副事務総長にもお越しをいただきました。

前回の10月20日の段階で報告があった内容について、その時点では、この点はどうです

かっていうのはその場で確認させていただきましたが、この間、大阪府・市においても内容確認を進めてきて、そして、こういったことについてきちんと回答いただきたいということをまとめましたので、それを本日説明させてもらえたらと思います。

今日中に答えが出るというものではないというのもわかっています。今日答えを出してくださいというものを求めるわけじゃありませんけれども、我々、府・市、万博の当事者でもありますから、我々が確認したい事項について、しっかりと説明を尽くしていただければと思っています。それを踏まえた上で、大阪府・市としてどのように判断するかという結論を出したいと思っています。横山市長は本日出張で同席はしておりませんが、この内容についてはすべて横山市長にも報告をしておりますので、私が府・市を代表して、確認項目をお伝えさせていただけたらと思います。

詳細に入っていきますけれども、まず、資料1をご覧ください。この確認事項についてですけれども、まず一つ目の項目ですが、会場建設費の直近の契約状況について確認をしたいと思います。資料1と参考資料「協会説明資料」をご覧ください。

まず、会場建設費の直近、令和5年9月の契約状況を確認したいと思います。そして、「協会説明資料」左側に記載の1850億円に記載の大工区、主要施設、土木工区、設備発注、交通施設、調査設計、警備関係などについて、その内訳と契約金額をご提示いただきたいと思います。右側の2220億円についても同様に提示いただくとともに、今後の執行予定についても提示をいただきたいと思います。また、施工環境改善以外の追加項目があれば、提示をいただきたいと思います。

そして、丸1、物価上昇プラス527億円についてです。ここについては「協会説明資料」の物価上昇プラス527億円とありますが、これについて、算出の考え方や具体的な積算の根拠を提示いただきたいと思います。また、これは各年度の事業費をもとに算出されていると思いますが、これまで府・市が補助金の交付決定の中で確認してきた年割額と整合がとれているのかどうか確認をいただきたいと思います。

そして、前回の増額時には博覧会協会から、会場建設費1850億円は工事費が1700億円と物価上昇等の変動対応分150億円で構成されているという説明がありました。この150億円が今回の精査結果にどのように反映されているのか提示いただきたいと思います。

次に二つ目、丸2の方です。工事内容の見直しによる変更マイナス157億円についてです。この説明資料の工事内容の見直しによる変更マイナス157億円について、調達方法の見直し、協賛獲得であったり、会場デザインの変更等、施工方法の調整、仕様見直し、電力関係設備等の見直し等の項目について、それぞれ詳細な内訳と金額を増減要素も含めて提示をいただきたいと思います。

そして、丸3の予備費です。プラス130億円についてですが、今回の精査結果で新たに予備費が計上されていますが、その考え方を説明いただきたいと思います。そして、積算で用いている6%の根拠の妥当性もご説明いただきたいと思います。また、今後どのような場合に予備費の執行を想定しているのかということも、あわせてご説明をいただきたいと思います。

そして、タイプXについてです。この資料にありませんが、今回の2350億円の中にタイプXに移行する国の立替費用は含まれているのかを確認させていただきたいと思います。

そして、今後に関してですけれども、協会において、会場建設費の今後の執行の管理について、以下3点についてもご回答をお願いしたいと思います。

コストの3分の2は税で成り立っていますから、徹底した厳しいコスト管理が必要だと思っています。コストの縮減に努めて、今回の増額の説明がありますけれども、本当に最後にしてもらいたいと思います。

そして、博覧会協会の理事会ごとに、会場建設費の執行状況を公表させていただきたいと思います。博覧会協会の理事会がありますけど、その理事会ごとに会場建設の執行状況の公表をお願いしたいと思います。

また、予備費が計上されていますけれども、予備費を執行する場合はあらかじめ協議をお願いしたいと思います。

私からの説明、そして確認したいという事項は以上です。これを軸に、今後、博覧会協会の考え方を回答させていただきたいと思います。その中で、大阪府・市でさらに確認をとることがあれば、事務方を通じてやりとりをさせていただければと思います。

一定、回答が整ったという段階が来れば、その時改めて会議を開いて、そして、我々、大阪府・市としてどのように判断するのかということをしたと思います。その前提となりますので、今回、会場建設費の確認したい事項をお伝えしましたけれども、ぜひ、そこについては真摯にご回答をお願いしたいと思います。

高科副事務総長から何かあればお願いします。

(高科副事務総長)

ご説明ありがとうございます。また、大阪府・市のご担当の方々におかれましては、これまでもすでに多くの時間をかけて確認作業をしていただいておりますことに改めましてお礼申し上げます。

今、知事からご説明いただきました確認事項は全般にわたるものでございますので、一旦、博覧会協会に持ち帰りまして、早急に整理をして、今、知事からもお話がありましたように、できたものから順次、まずは事務的にお返しさせていただければと思います。

その上で、すべての項目に対応できるようになった段階で、改めて大阪府・市にご説明させていただきたいと思います。引き続き、よろしく願いいたします。

(知事)

よろしく申し上げます。事務方を通じて、回答できるところからの回答ということで構いませんが、それで不十分な点があれば、また確認させていただきます。一定、大阪府・市の事務方も含めて回答が整ったという段になれば、横山市長と私も入って会議を開催して、そして方針を判断したいと。正式に、またそこで改めて説明をお聞きしたいと思います。

ここについては、もちろん府民・市民に選出されている知事・市長という立場もそうですが、府議会・市会の皆さんも国に対する意見書というものを提出されておられます。

1度目の増額の時に、国として2度目の増額はない、という当時の大臣のお言葉もありました。それは公の場でも確認をさせていただいて、今回、2度目の増額になっていますので、府・市の議会からは、これは違うんじゃないか、という強い意見が出ているのは当然ですし、実際、そういう中で、今、検討しているところでもあります。

議会はもちろんですけど、府民・市民の皆さんに、私達もしっかりと根拠を聞いて、そして説明をする必要があると思っていますので、今日お聞きしたことは、ぜひ着実に、正確にご回答をお願いしたいと。合理的な根拠をもとに、しっかりと説明していただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

また、博覧会協会もそうですけれども、我々も2025年大阪・関西万博を成功させたいと思って、そして、すばらしい未来社会を実現する150ヶ国の国々が集まって、色々な技術や価値観が一堂に会して発信する、色々な新しいものが生まれる場でもあります。大きな経済効果があるんですが、2兆円以上の経済効果だけじゃなくて、未来に向けた我々のメッセージという非常に大きな、目に見えない大きな意味がある万博だと思っていますので、ともに協力して成功させたいという思いは全く変わりありません。

ただ、どうしても費用は実際に発生する。そして、今回、増額の提示があるので、これはどうなんだ、ということのご意見があるのも当たり前で、我々としてもしっかりと確認して、その上で大阪府・市としての判断をしたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

(彌園万博推進局長)

吉村本部長、高科副事務総長、どうもありがとうございました。他に何かご発言等ございますでしょうか。

無いようでございますので、本日の確認事項につきましては、今、吉村本部長からも説明があったんですけども、引き続き、事務的にも調整させていただきまして、博覧会協会において回答の準備ができたということであれば、改めてこの万博推進本部会議を開催させていただいて、また説明をお受けしたいと思っていますのでよろしくお願いします。

それでは、本日の会議は以上でございますので、これにて閉会とさせていただきます。どうも皆さんありがとうございました。